

# 公共施設に対するニーズの変化

# 1 公共施設に対するニーズの変化

## ●民間との役割分担の変化、パーソナルな場所・居場所としてのニーズの顕在化

- 以前は市民会館や市民センターで結婚式行っていました。民間の結婚式場等を利用するようになっています。公民館では葬式や通夜が行われていました。
- 図書館や公民館についても、本を読むといった従来の利用方法だけでなく、パーソナルな場所(例: 自習室)としてのニーズや、ふらりと立ち寄れる「地域の居場所」としてのニーズが顕在化しています。

図:市民会館での結婚式



図:図書館のワークスペース、カフェ



※出典:武蔵野プレイスホームページ 武蔵野プレイスパンフレット  
[http://www.musashino.or.jp/data/place/pageview/pageview.html#page\\_num0](http://www.musashino.or.jp/data/place/pageview/pageview.html#page_num0)

図:民間商業施設においても「地域の居場所」や「交流拠点」を設置  
 (鹿児島市「マルヤガーデンズ」の料理教室・イベントスペース)



※出典:マルヤガーデンズホームページ <https://www.maruya-gardens.com/>

※出典:蒲郡市ホームページ 広報がまごおり昭和48年11月号  
<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kohogamagori/kouhou-4811.html>

# 1 公共施設に対するニーズの変化

## ●高齢化の進展に伴う新たなニーズの顕在化

- 娯楽や慰労の目的で利用されていた老人福祉センターに、健康維持や機能回復に関する相談窓口が設置されるなど、介護予防としてのニーズが顕在化しています。
- 高齢者等が社会から孤立した状況が長く続くと、日常生活に寂しさや不安を感じることにつながるケースがあります。「まちの居場所」として人と人とのつながりを生み出す「コミュニティカフェ」や「サロン」のニーズが生まれています。

図：老人福祉センターの大広間と生活健康相談室



※出典：市原市ホームページ  
[http://www.city.ichihara.chiba.jp/shisetsu/comyu/sisetu\\_kikuma/roujin.html](http://www.city.ichihara.chiba.jp/shisetsu/comyu/sisetu_kikuma/roujin.html)

図：まちの居場所づくり



※出典：豊橋市HP  
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/14751.htm>

※出典：公益社団法人長寿社会文化協会HP  
<http://www.wac.or.jp/>



# 1 公共施設に対するニーズの変化

## ●地域内外に対する「拠点」としてのニーズの顕在化

- 図書館に子育てセミナー等のイベント開催スペースや地域情報等の発信・案内コーナーが設けられるなど、「地域の拠点」としてのニーズが顕在化しています。
- 美術館に地域特産品をモチーフにしたセレクトショップが併設されるなど、「対外的な情報発信拠点」としてのニーズが顕在化しています。

図：地域の拠点機能を果たす図書館の一部



※出典：千代田区図書館ホームページ  
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/facilities/chiyoda/>

図：美術館内に地域特産品をモチーフにしたセレクトショップを併設



※出典：新潟市美術館ホームページ  
<http://www.h03tr.com/lululu.html>

# 1 公共施設に対するニーズの変化

## ●子どもの数・教育内容の変化による学校に対するニーズの変化

- 子どもの数が少なくなり、少人数学級を設定する教育委員会が増えてきました。
- 教育内容が時代と共に変わり、学校内で必要とされるスペースが変わってきています。  
(例:固定教室ではなくオープンスペースを設ける、学校でパソコンを利用した授業を行う等)
- 核家族化が進み、帰宅しても家族が不在のため、放課後児童クラブなどの居場所に対するニーズが顕在化しています。
- 地域との交流を図るため、生涯学習施設や図書館等と複合化した学校も増えています。

図:オープンスペースと一体化した教室



※出典:「森のな密度を持った小中併設校 流山市立おおたかの森小中学校」  
『GAJAPAN』134号,A.D.A.EDITA Tokyo

図:地域開放も視野に入れた体育館の分館化



※出典:「モードチェンジできる都市型小学校 立川第一小学校」  
『GAJAPAN』134号,A.D.A.EDITA Tokyo

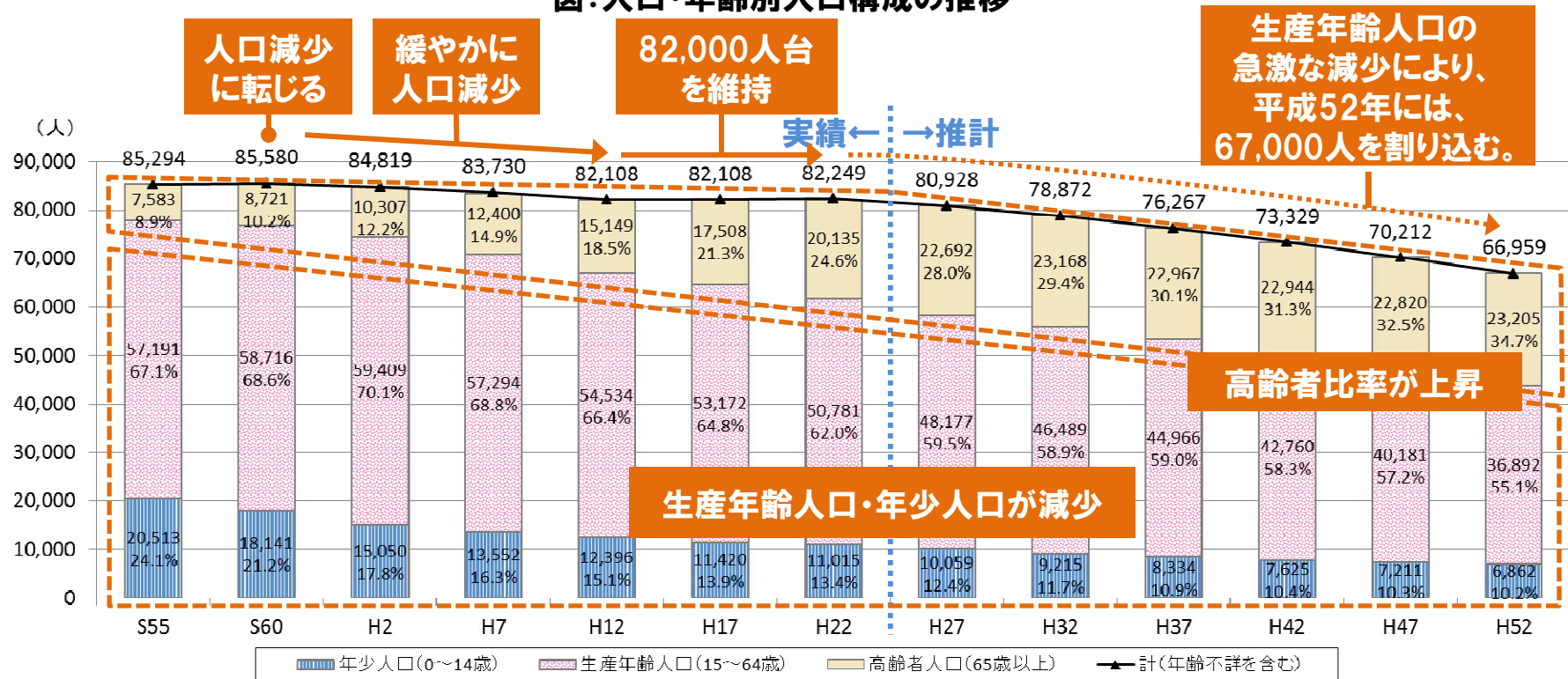


## 2 蒲郡市の人口の移り変わり

### ●人口推移の状況(前出の資料「蒲郡市における公共施設の現状と課題」より再掲)

- 人口は、昭和60年以降緩やかに減少を続けたものの、平成12年から10年間は82,000人台を維持しています。将来人口は、平成52年に67,000人を割り込むまで減少すると見込まれています。
- 平成22年から平成52年の間に、生産年齢人口は50,781人(62.0%)から36,892人(55.1%)に減少し、これに伴う税収減などが見込まれます。一方で、高齢者人口は20,135人(24.6%)から23,205人(34.7%)と、特に高齢者比率が上昇しており、より少ない生産年齢人口で高齢者を支える構造となります。

図：人口・年齢別人口構成の推移



※実績値は、各年の国勢調査をもとに作成。

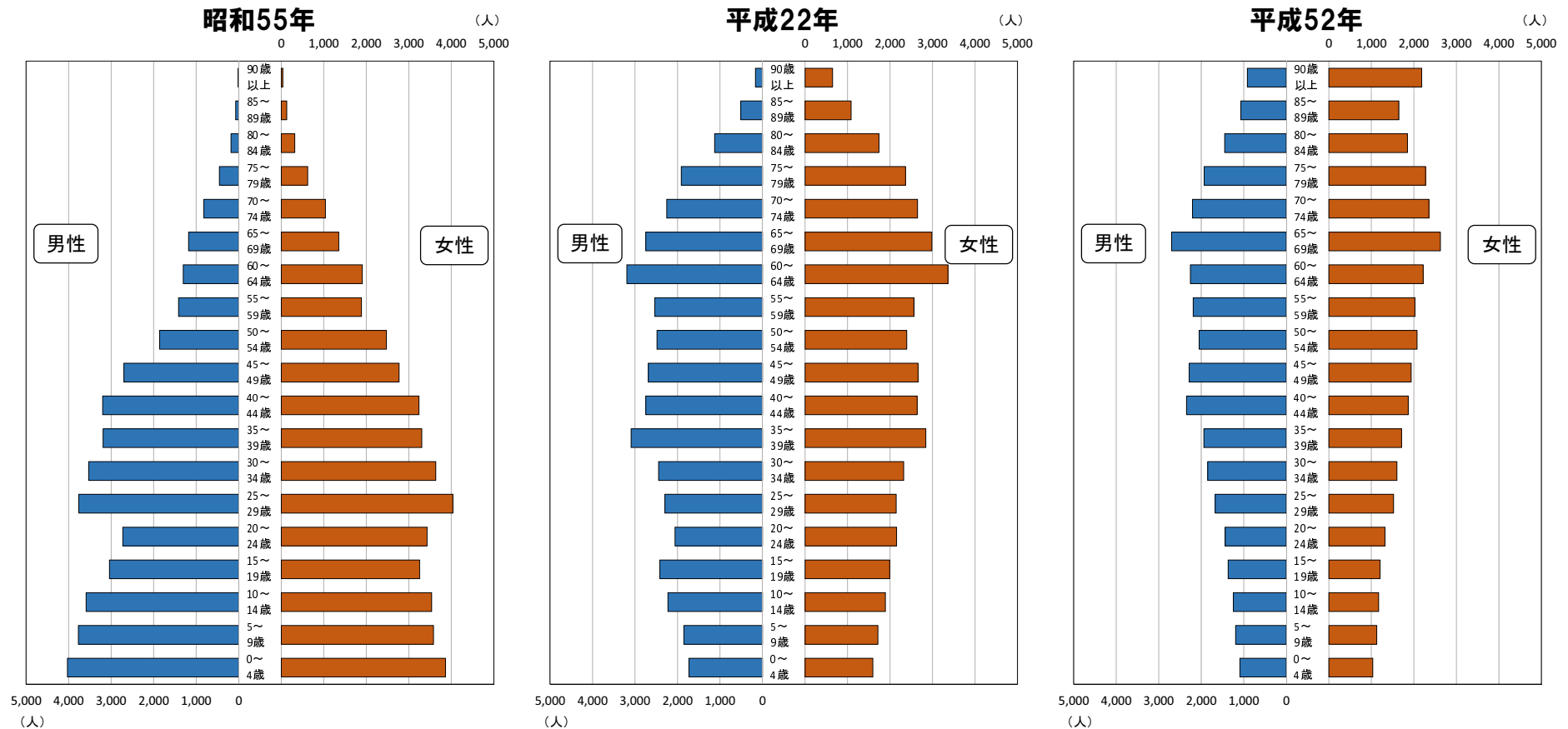
※推計値は、国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成。

## 2 蒲郡市の人口の移り変わり

### ●人口構成の変化

- 昭和55年、平成22年、平成52年(推計)の人口構成を見ると、昭和55年はピラミッド型に近かったものが、平成22年には釣鐘型、平成52年には逆三角形型に近づいていることが分かります。
- 平成52年の0-4歳人口は、最も多い65-69歳人口の半数以下となると想定されています。

図：人口構成の変化



※昭和55年・平成22年の値(実績値)は、各年の国勢調査をもとに作成。

※平成52年の値(推計値)は、国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成。

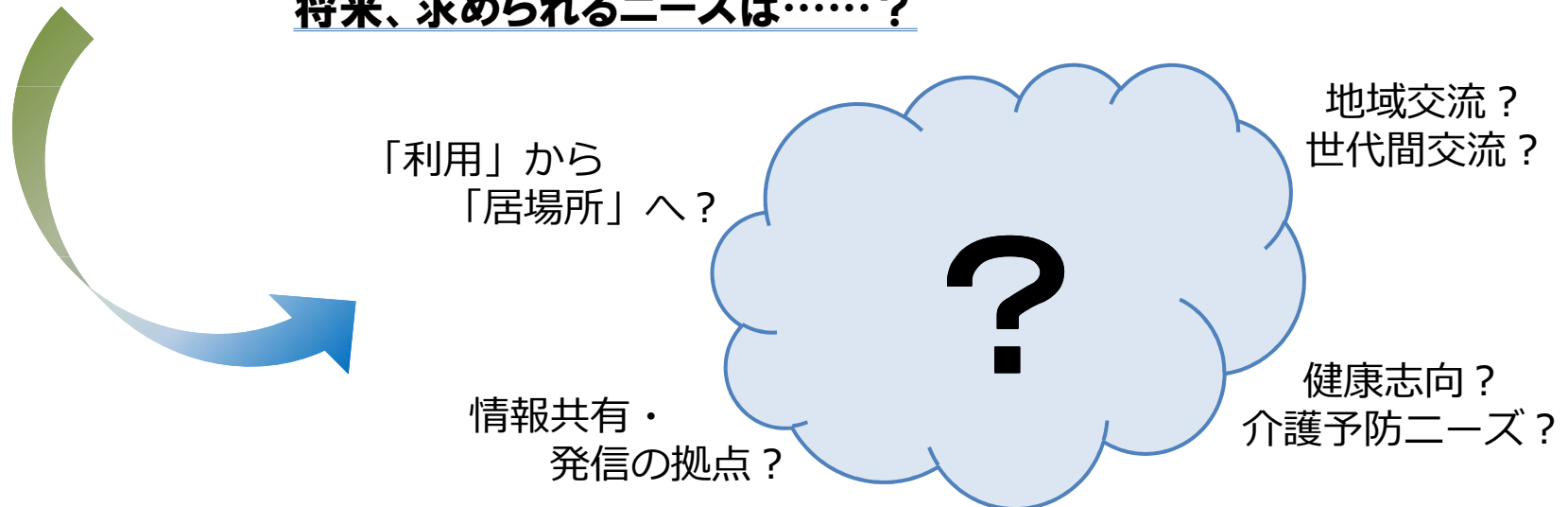
### 3 公共施設に求められるニーズとは

- 公共施設に求められるニーズ・役割は、時代背景や人口構成の変化により、変わってきています。

#### 現在の、公共施設の主な役割

- 義務教育として行われる普通教育を施す
- 市行政の運営、事務を実施
- 勤労者の文化教養の向上と福祉の増進
- 健康で文化的な生活を営むために必要な住空間の提供
- 市民の生命や財産を守る防災機能 .....等

#### 将来、求められるニーズは……？





## 4 将来発生すると思われるニーズ

- 将来発生すると思われるニーズを1つ自由に考えてください。
- 下の回答欄に、どのようなニーズが発生するか、公共施設がどのように変わる必要があるかを、ご記入ください。

### ●将来どのようなニーズが発生するか

### ●上記のニーズに対応して、公共施設がどのように変わる必要があるか